

## 陳情書

### パレスチナの恒久平和実現に向けた市議会決議の採択について

広島市政の現場で、日々私たち広島市民のために尽力されている広島市議会議員の皆様  
に敬意を表します。私たちは日本郵政グループ会社で働く労働者で組織する労働組合です。  
中央本部は東京都豊島区にあり、中国地方本部は広島市中区の広島中央郵便局内にありま  
す。平和で安心して働ける職場や社会をめざしてこの広島に拠点を置き活動を続ける労働組  
合として、このたび広島市議会に対し以下の通り市議会決議の採択を要請いたします。

#### <要旨>

- ・パレスチナ自治区ガザ地区における戦闘を直ちに止めること。
- ・双方の人質や捕虜を釈放すること。
- ・パレスチナの人々への人道的支援を急ぐこと。
- ・この間の国連の決議等を尊重するとともに、和平合意破綻の歴史的経過も踏まえ、イスラ  
エル・パレスチナ両者のみならず国連の場において、パレスチナの恒久的な平和の実現に  
向けた真摯な議論を早急に行うこと。

以上の内容に基づく決議を即座に採択し、世界に向けて発信することを要望します。

#### <理由>

現在、イスラエルがガザ地区に対して行っている軍事行動により、パレスチナ住民の死者  
数は2月16日時点で2万8千人を超えたと伝えられ、この中には多くの子供たちが含まれ  
ているとのこと。ガザ地区北部を制圧したイスラエルは、今後、南部の街ラファに侵攻  
すると表明していますが、通常30万人足らずだったこの街には北部からの避難民が多数押  
し寄せ、現在は150万人に膨れ上がっていると聞きます。圧倒的な軍事力を以ってここを攻

撃すれば犠牲者の数が跳ね上がることは明らかであり、生き残った人々も肉体的・精神的に傷つき、復興をより困難なものにしてしまいます。これ以上、戦闘を継続させてはなりません。

79年前、広島も、たった1個の原子爆弾という大量殺戮兵器によって10万人以上の市民が亡くなりました。その事実は現在も、そして未来に対しても、人類の歴史において負の遺産として残っています。私たちは「過ちは繰り返させぬ」と誓い、今日まで世界に向けて平和のメッセージを発信し続けてきました。昨年5月にはG7サミットが開催され、それ以降、国内外から多くの人が広島を訪れ、原爆資料館前には長い行列ができるようになりました。今、ヒロシマは世界を試しています。そして世界はヒロシマに未来を見出そうとしています。ヒロシマが、パレスチナのこの事態に目を背けたままで良いのでしょうか。

このままイスラエルがガザ地区を完全制圧したとしても、パレスチナの地に恒久的な平和が訪れてくるとは思えません。また、世界中の関心が高まるに連れ、パレスチナの人々の人権が著しく侵害されていたことも広く知られるようになりました。これ以上の戦闘継続は、イスラエルの名誉をさらに傷つけるものと考えます。

パレスチナへの報復攻撃が始まってから4カ月。既に多くの地方議会において停戦を求める決議や意見書が出されています。その先頭に立つべき広島が未だにメッセージを発信できていないことに失望しています。一刻も早くこの軍事行動を止めるために、即時停戦を求めること等を決議し、世界に向けてメッセージを発信するよう要望します。

令和6年2月21日

広島市議会議長 母谷龍典様

広島市中区国泰寺町一丁目4番1号 広島中央郵便局内

郵政産業労働者ユニオン中国地方本部

執行委員長 小野康邦